

下

ある

トリ

心に

入れ

オ一

WJ

る計

ジェ

WJ

させ

一搭

19

30

え、

とす

も増

に燃

るほ

一を

整え

生分解性。ポリを販売

ナイロン系の展開も

ジャテック

る計 ジャテックは今期(2

022年3月期)、売上高

WJ が新型コロナウイルス禍

させ 前の水準を超える見通し

一搭 だ。来期はサステイナブ

19 ル素材の拡大などに注力

30 し、前年比10%の増収を

え、 狙う。

とす 原系販売は、足元で新

も増 型コロナ禍前の95%の水

に燃 準に回復している。今後

るほ はサステイナブル素材の

一を 拡大とともに、糸と連動

整え させる形で強化してきた
ビームサプライ事業も伸

ばす。

サステイナブル系で
は、米国のイントゥリン

シク・アドバンスト・マ

テリアルズ(IAM)の

添加剤「ciclio」(シ

クロ)を使った生分解性

ポリエステル系の展開が

始まった。まずはDTY

(56、72、167T)か

ら提案が始まり、現在は

なま糸やPOYなどもそ

ろえる。ナイロン系の提

案も始まった。シクロを

添加したポリエステル系

の生分解率は、ウールな

どと同水準。IAMが第

三者機関を通じて実施し

た試験では、無酸素埋立

状態では、600日で87

・6%が分解されるなど

の結果を得ている(米国

ASTM基準)。

足元では織物のサイジ

ングの引き合いも増えて

いる。これまで細番手用

で設備投資を進めてきた

が、今後は産業資材用の

太番手への対応を強化す

る設備更新も検討する。

経編み用のビームサプラ

イ事業も注目が高く、来
期の拡大を狙う。



サステイナブル素材をさらに強化する